



2025年6月30日
オリックス株式会社
(コード番号：8591)

Greenko Energyの株式譲渡契約再締結およびAM Green (Luxembourg)への新規投資再決定に関するお知らせ

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：高橋 英丈）は、2025年6月29日、当社の持分法適用会社であるGreenko Energy Holdings（以下「Greenko」）の当社保有持分20%のうち17.5%を、同創業者が設立した次世代エネルギー事業会社AM Green B.V.（以下「AMG」）の100%子会社であるAM Green Power B.V.に譲渡するとともに、AMGの100%親会社であるAM Green (Luxembourg) S.à.r.l（以下「AMG Lux」）が発行する転換社債を引き受けることを決定し、株式売買契約および転換社債引き受けに関する契約を新たに締結しましたので、お知らせします。

本件は2025年1月に株式譲渡契約および新規投資を発表^{*1}し、その後停止条件が成就しなかったことにより、2025年4月に契約が終了しました^{*2}が、関係者と協議を進めた結果、契約の再締結に至りました。

インド競争法による許認可は取得済みであり、2025年7月中をめどに株式譲渡および転換社債引き受けを行う予定です。

1. 本取引の目的

Greenkoは、インドの大手再生可能エネルギー事業者を傘下に持ち、インド国内で太陽光発電、風力発電、水力発電など、設備容量合計7.3GW^{*3}の稼働中プロジェクトを運営するほか、大型の揚水発電の開発を進めています。

当社は、2021年3月にGreenkoへ出資^{*4}し、事業成長を支援してきました。このたび、キャピタルリサイクリングの一環として、今後の脱炭素社会実現に向けて高い成長が見込まれる次世代エネルギー分野へ投資するため、当社が保有するGreenkoの当社保有持分20%のうち17.5%を売却し、同時に資金の一部をAMG Luxへ投資することとしました。

AMGは、2023年にGreenko創業者であるAnil Chalamalasetty氏とMahesh Kolli氏が設立した、脱炭素化およびグリーンソリューションを手掛ける企業で、グリーン水素^{*5}、グリーンアンモニア^{*6}およびグリーン水素生産に不可欠な水電解装置の製造プロジェクトの開発を進めています。AMGは、年間500万トンのグリーンアンモニアを生産する計画を立てています。最初のプロジェクトとして、インドのアンドラプラデシュ州カキナダで年間100万トンのグリーンアンモニアを生産するプラントの建設を進めており、2026年中の運転開始を目指しています。また、AMGはグリーンアンモニアを欧州へ供給するため、欧州のエネルギー企業Uniper SEやアンモニア貿易・販売会社Yara Clean Ammoniaなどと基本条件について合意しています。将来的には、グリーン水素製造や、メタノールなどの合成燃料の製造、バイオマス由来原料を用いたSAF（持続可能な航空燃料）の製造まで事業を拡大し、次世代エネルギーのバリューチェーンを構築するプラットフォーム企業となることを目指しています。

当社は、再生可能エネルギー事業を重要な経営戦略の一つとして掲げており、日本国内での太陽光、地熱、風力などの発電事業の拡大とともに、海外展開を積極的に行っています。2023年にはスペイン本拠の再生可能エネルギー事業会社Elawan Energy S.L.を完全子会社化^{*7}するなど、世界で約4.7GW^{*3}の再生可能エネルギー設備容量を保有しています。

脱炭素社会実現のため、化石燃料を中心とする既存のエネルギーシステムからクリーンエネルギーへの移行が企図されるなか、次世代エネルギーは大きな市場成長が見込まれます。オリックスは今回の投資を通じて、エネルギートランジション分野の事業領域の拡大を目指すとともに、企業活動を通じた持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1 [Greenko Energy](#) の株式譲渡契約締結および関連会社への新規投資に関するお知らせ

※2 [（開示事項の中止）Greenko Energy](#) の株式譲渡および [AM Green](#) への新規投資の契約終了に関するお知らせ

※3 2025年3月末時点。

※4 [2021年3月8日付リリース](#)：インドの大手再生可能エネルギー事業者 [Greenko Energy](#) の株式取得を完了

※5 再生可能エネルギーで水を電気分解して作る水素のこと。

※6 再生可能エネルギーを用いて生成されたグリーン水素を原料とするアンモニアのこと。

※7 [2022年12月14日付リリース](#)：スペイン本拠のグローバル再エネ事業会社 [Elawan Energy](#) を完全子会社化

2. 株式譲渡する持分法適用会社の概要

(1)	名 称	Greenko Energy Holdings
(2)	所 在 地	モーリシャス諸島
(3)	代表者の役職・氏名	Anil Kumar Chalamalasetty（創業者兼 CEO）
(4)	事業内容	再生可能エネルギー事業
(5)	設 立	2004年

3. 株式譲渡の相手先の概要

(1)	名 称	AM Green Power B.V.
(2)	所 在 地	オランダ
(3)	代表者の役職・氏名	Anil Kumar Chalamalasetty（創業者兼 CEO）
(4)	事業内容	再生可能エネルギー事業
(5)	設 立	2023年

4. 持分法適用会社に対する所有株式比率および株式譲渡価額

(1)	所有株式比率	発行済株式 20%（うち、今般、17.5%分を売却し、譲渡後持分 2.5%）
(2)	譲 渡 価 額	1,282 百万米国ドル

5. 転換社債引受の相手先の概要

(1)	名 称	AM Green (Luxembourg) S.à.r.l
(2)	所 在 地	ルクセンブルク
(3)	代表者の役職・氏名	Anil Kumar Chalamalasetty（創業者兼 CEO）
(4)	事業内容	次世代エネルギー製造事業
(5)	設 立	2023年

6. 転換社債引受額

(1)	社 債 総 額	約 731 百万米国ドル
-----	---------	--------------

7. 日程

(1)	株式譲渡および 転換社債引受契約日	2025年6月29日
(2)	株式譲渡および 転換社債引受実行日	2025年7月中（予定）

8. 今後の見通し

本取引は、為替の影響等により売却益は金額が変動するため、現時点での業績への影響額は未確定です。

仮に2025年6月27日時点の為替レート（1 USD=144.58円）で計算した場合の売却益は、2026年3月期の連結決算第2四半期において約934億円（継続保有する2.5%部分の評価益を含む）と試算されます。

本件売却益及び評価益の業績予想に与える影響につき、本件に限らず総合的に勘案した結果、現時点では、業績予想を変更しないことといたしました。

今後の業績の進捗状況や外部環境の変動等を注視しつつ、必要と判断される場合には、速やかに業績予想の見直しを公表させていただきます。

以 上

<株主・投資家からのお問い合わせ先>

オリックス株式会社 IR・サステナビリティ推進部 TEL：03-3435-3121

<報道関係者からのお問い合わせ先>

オリックス株式会社 グループ広報・渉外部 TEL：03-3435-3167